

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	体育科教育法				
担当者氏名	加藤 達雄				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上</li> <li>○ 専門基礎-4 発達の深い理解</li> <li>◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性</li> </ul>			

《授業の概要》

運動学習の過程・動作の成り立ちや健康関連データを踏まえ、各種教材を用いて実践的かつ具体的に論じ、演習を行う。運動領域では、学生自身が運動の特性に触れ、その魅力や楽しさを味わうことを通して、各運動系の意味や価値の認識を深めることを目指す。保健領域では身近な生活における課題や情報から心身の健康の保持増進に関連付ける。実技時は、運動に適した服装に更衣し、シューズを履くこと。

《授業の到達目標》

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するために、各領域の指導法を理解する。運動・保健領域では、基礎的指導技術を身につけ、情報機器及び教材の効果的な活用法を理解した授業計画や学習指導案の作成し、実際に模擬授業ができるようになる。

《成績評価の方法》

評価は、平常点（10％）、課題・提出物（45％）、期末試験（45％）等によって総合的に評価する。

《テキスト》

文部科学省「小学校学習指導要領解説 体育編」

《参考図書》

国立教育政策研究所教育課程研究センター「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 小学校 体育」東洋館出版社

白旗 和也編著「平成29年版 小学校新学習指導要領の展開 体育編」明治図書出版

授業時間中に必要に応じて紹介する。

《授業時間外学習》

予習・復習は、教科の授業内容に関連するところを熟読し、授業内容をまとめておくこと。

課題が提示された場合は、期日を守り、提出すること。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション・体育科目目標	オリエンテーション 遊び・スポーツと体育とは、体育科の変遷
2	体育科目目標	学習指導要領の解説
3	体育科全般	情報機器及び教材の活用した学習指導、学習指導案作成（単元計画立案作成）
4	体育科全般	学習指導案作成（時案作成）
5	運動領域	「水泳系」の概要と指導法の研究
6	運動領域	「体づくり運動」「器械運動」の概要と指導法の研究
7	運動領域	模擬授業「体づくり運動」「器械運動」
8	運動領域	「陸上運動」「表現運動」の概要と指導法の研究
9	運動領域	模擬授業「陸上運動」「表現運動」
10	運動領域	「ボール運動」の概要と指導法の研究
11	運動領域	模擬授業「ボール運動」 低学年
12	運動領域	運動領域における情報機器及び教材を用いた指導法の研究
13	保健領域	「保健」領域の概要と指導法の研究（情報機器及び教材を用いることを含む）
14	保健領域	模擬授業「保健」
15	体育科全般・まとめ	体育科の評価・評定 学習のまとめ

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	体育科教育法				
担当者氏名	加藤 達雄				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上</li> <li>○ 専門基礎-4 発達の深い理解</li> <li>◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性</li> </ul>			

《授業の概要》

運動学習の過程・動作の成り立ちや健康関連データを踏まえ、各種教材を用いて実践的かつ具体的に論じ、演習を行う。運動領域では、学生自身が運動の特性に触れ、その魅力や楽しさを味わうことを通して、各運動系の意味や価値の認識を深めることを目指す。保健領域では身近な生活における課題や情報から心身の健康の保持増進に関連付ける。実技時は、運動に適した服装に更衣し、シューズを履くこと。

《授業の到達目標》

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するために、各領域の指導法を理解する。運動・保健領域では、基礎的指導技術を身につけ、情報機器及び教材の効果的な活用法を理解した授業計画や学習指導案の作成し、実際に模擬授業ができるようになる。

《成績評価の方法》

評価は、平常点（10％）、課題・提出物（45％）、期末試験（45％）等によって総合的に評価する。

《テキスト》

文部科学省「小学校学習指導要領解説 体育編」

《参考図書》

国立教育政策研究所教育課程研究センター「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 小学校 体育」東洋館出版社

白旗 和也編著「平成29年版 小学校新学習指導要領の展開 体育編」明治図書出版

授業時間中に必要に応じて紹介する。

《授業時間外学習》

予習・復習は、教科の授業内容に関連するところを熟読し、授業内容をまとめておくこと。

課題が提示された場合は、期日を守り、提出すること。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション・体育科目目標	オリエンテーション 遊び・スポーツと体育とは、体育科の変遷
2	体育科目目標	学習指導要領の解説
3	体育科全般	情報機器及び教材の活用した学習指導、学習指導案作成（単元計画立案作成）
4	体育科全般	学習指導案作成（時案作成）
5	運動領域	「水泳系」の概要と指導法の研究
6	運動領域	「体づくり運動」「器械運動」の概要と指導法の研究
7	運動領域	模擬授業「体づくり運動」「器械運動」
8	運動領域	「陸上運動」「表現運動」の概要と指導法の研究
9	運動領域	模擬授業「陸上運動」「表現運動」
10	運動領域	「ボール運動」の概要と指導法の研究
11	運動領域	模擬授業「ボール運動」 低学年
12	運動領域	運動領域における情報機器及び教材を用いた指導法の研究
13	保健領域	「保健」領域の概要と指導法の研究（情報機器及び教材を用いることを含む）
14	保健領域	模擬授業「保健」
15	体育科全般・まとめ	体育科の評価・評定 学習のまとめ